

学校統合の準備としたICT
(情報通信技術)の導入について

松野 久郎



離島などの遠隔地において、非常に有効なものと考えている。

【質問】統合準備委員会も立ち上がり、検討事項として、小さな学校の児童生徒はうまくなじめるか、肩身の狭い思いをしないか。また、統合時の中学3年生に対しては、環境の変化も含め格段の配慮が必要と考える。その準備として、事前の交流活動が大切と考える。

子どもたちにとって大事なことは、直接出会うことである。

そこで、ICTを活用して、離れた空間と空間を臨場感を持つてつなぐことができるシステムを導入することで、移動のロスもなく、交流活動ができる。

昨日(9月13日)、第二小学校と齋川小学校の第1回の交流が行われ、直接会っているような活動を行った。

【質問】統合準備委員会も立ち上がり、検討事項として、小さな学校の児童生徒はうまくなじめるか、肩身の狭い思いをしないか。また、統合時の中学3年生に対しては、環境の変化も含め格段の配慮が必要と考える。その準備として、事前の交流活動が大切と考える。

齋川小学校の子どもたちの感想の9割は、楽しかった、交流して良かったである。1割の子どもたち、特に高学年の子は、非常に緊張したと聞いている。

【質問】統合準備委員会も立ち上がり、検討事項として、小さな学校の児童生徒はうまくなじめるか、肩身の狭い思いをしないか。また、統合時の中学3年生に対しては、環境の変化も含め格段の配慮が必要と考える。その準備として、事前の交流活動が大切と考える。

まず、できるだけ直接接会って交流を実施できればと考えている。

【質問】統合準備委員会も立ち上がり、検討事項として、小さな学校の児童生徒はうまくなじめるか、肩身の狭い思いをしないか。また、統合時の中学3年生に対しては、環境の変化も含め格段の配慮が必要と考える。その準備として、事前の交流活動が大切と考える。

【災害箇所の復旧工事や修繕について】

【質問】統合準備委員会も立ち上がり、検討事項として、小さな学校の児童生徒はうまくなじめるか、肩身の狭い思いをしないか。また、統合時の中学3年生に対しては、環境の変化も含め格段の配慮が必要と考える。その準備として、事前の交流活動が大切と考える。

【質問】異常気象に伴い、台風や集中豪雨等で災害が発生している。その復旧や修繕の対応において、市の基準があるのか伺う。

【質問】異常気象に伴い、台風や集中豪雨等で災害が発生している。その復旧や修繕の対応において、市の基準があるのか伺う。

【答弁】【市長】自然災害の被災調査を行い、原形復旧が原則となる。

従来の機能が維持できるように、生活道路の確保を最優先に実施している状況である。

【質問】同じ場所が何度も繰り返し災害を受けている場合、一時的な復旧工事ではなく、長期的に災害が発生しないように対応する必要があると考えるが、見解を伺う。

【答弁】【市長】そのとおりである。現在は、原形復旧が基本であるが、繰り返し発生した場所については、災害原因を踏まえて工法を検討し、災害を防止する必要があると考えている。

【その他の質問】

◎白石フリーWiFiエリアの拡大と光回線の通信サービスが導入されない地域への対応について

【質問】白石フリーWiFiエリアの拡大と光回線の通信サービスが導入されない地域への対応について

季節性インフルエンザ予防ワクチン接種の助成拡大について

菅野 恭子



自治体が平成29年度当初予算編成に反映できるように、8月31日に説明会を行っている。

【質問】本年6月の定例会において、5月26日の報道発表を示し、「県は、子ども医療費の市町村への助成を拡充すると述べているが、実施されれば本市の負担減少になる。この分の財源を、季節性インフルエンザ予防ワクチン接種の助成拡大に向けて検討をすべきでないか」の旨の一般質問をした。

【答弁】【市長】県の説明会は8月31日であり、本日(9月14日)までの期間では検討できない状況である。

【その他の質問】

◎犯罪被害者支援条例の制定について

【質問】犯罪被害者支援条例の制定について

【質問】平成17年4月、犯罪被害者等基本法が施行され、国と地方公共団体は、それぞれ被害者支援に取り組み責務があると明記した。

犯罪に巻き込まれた人や家族は、心身ともに傷つき、平穏な暮らしに戻れるまでさまざまな支援が必要である。

【答弁】【市長】県の説明会は8月31日であり、本日(9月14日)までの期間では検討できない状況である。

【その他の質問】

◎災害時食品備蓄のアルギー対応について

【質問】災害時食品備蓄のアルギー対応について

【その他の質問】

【その他の質問】

【その他の質問】